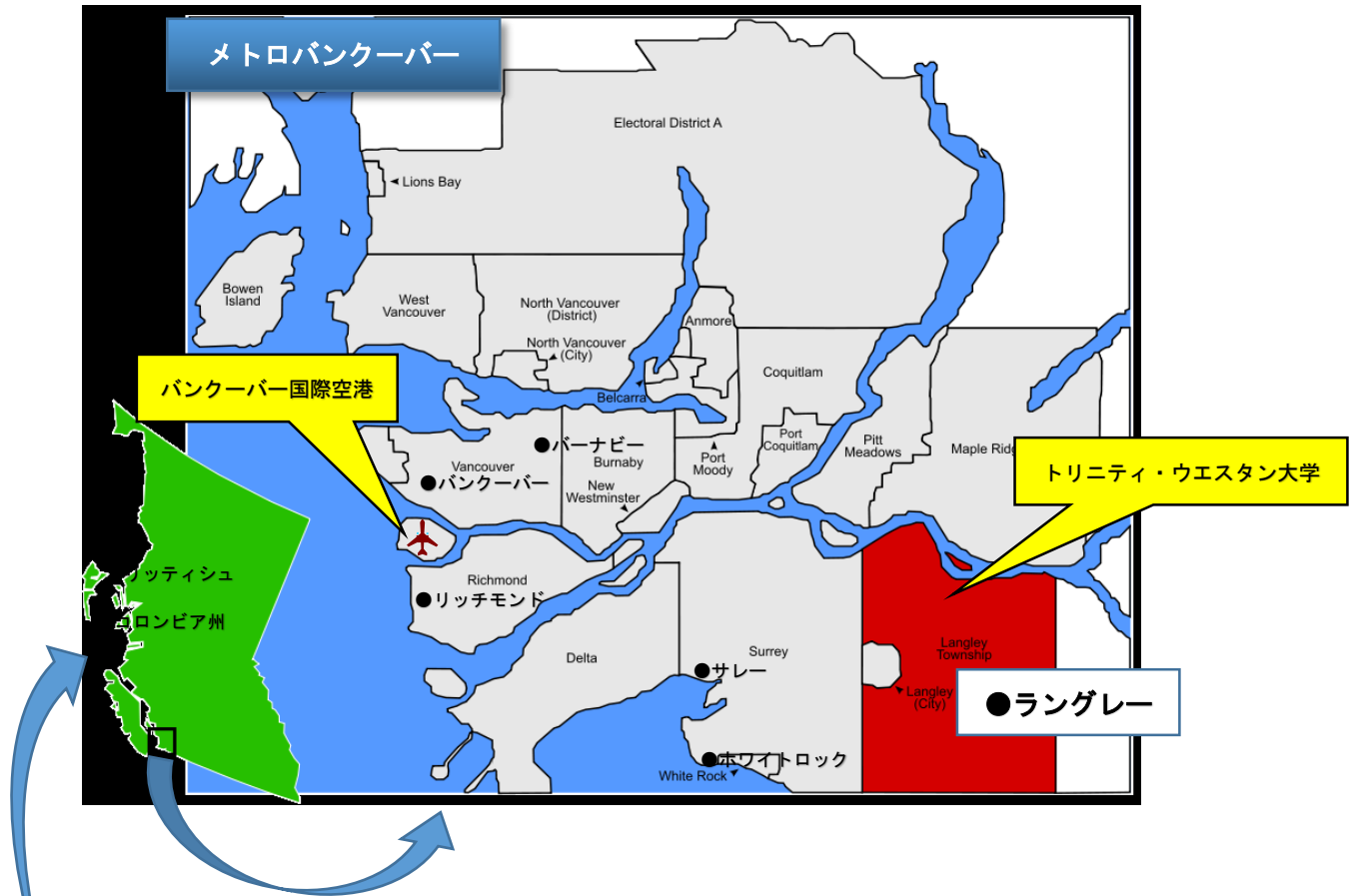


平成 30 年度 南幌町中学生国際留学プログラム事業 報 告 書



**International Study Abroad Program Report
Aug.5-Aug.18, 2018 BC,CANADA**

地図



Contents

International Study Abroad
Program in CANADA 2018

地 図

海外留学行程表 1

ホストファミリー 2

研修生徒報告

大 井 音 和 3

鬼 木 莞 爾 5

石 川 千 夏 7

柴 橋 茉 奈 9

竹居田 梓 里 11

中 川 愛 梨 13

Photo Gallery 15



南幌町では、外国での語学研修やホームステイ体験を通じて、「子どもたちに国際感覚を身に付けてもらおう」と平成 26 年度から『中学生国際留学プログラム事業』がスタートし本年度が 5 回目となりました。

本年度派遣されたのは、南幌中学校の男子生徒 2 名と女子生徒 4 名の 6 名。出発までに 5 回の事前研修の中で、ホームステイの心得や英語レッスンを受け、初めての海外研修に備えてきました。

カナダ短期留学は、8 月 5 日から 8 月 18 日の 14 日間の日程で、バンクーバー地域のラングレーにおいて、現地のトリニティ・ウエスタン大学での語学研修や、ホームステイによる生活体験、地元の幼稚園児との交流など様々な体験をしました。

本書は、平成 30 年度のカナダ・バンクーバー地域における派遣生徒たちの短期留学について報告します。



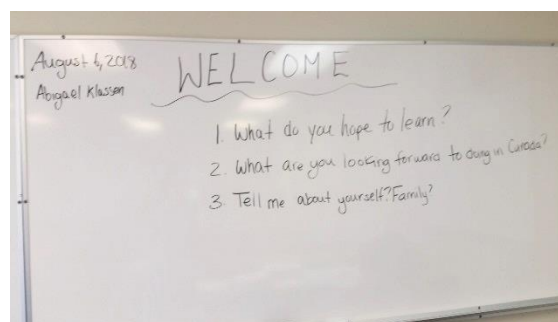
海外留学行程表

日次・月日	地 名	現地時間	交通機関	スケジュール
1 日目 8 月 5 日 (日)	南幌町ぼろろ 南幌町ぼろろ発 新千歳空港発 羽田空港発	14 : 30 14 : 50 17 : 30 21 : 50	バス ANA74 便 ANA116 便	出発式 出発式終了後・南幌町から新千歳空港へ 国内線にて羽田空港へ 出国審査・羽田空港からバンクーバー空港へ
	バンクーバー空港着 バンクーバー空港発 ラングレー	14 : 25 16 : 00 17 : 00	専用車 ホスト送迎	【日付変更線通過】 入国審査 ホームステイ地域のラングレーへ トリニティ・ウエスタン大学 (TWU) 到着、ホストファミリーと対面→ホストファミリー宅へ
2 日目 8 月 6 日 (月)	ラングレー		ホスト送迎	トリニティ・ウエスタン大学にて ESLI プログラムの英語レッスンとキャンパスツアー
3 日目 8 月 7 日 (火)	ラングレー		ホスト送迎 専用車	英語レッスン フォートラングレー見学
4 日目 8 月 8 日 (水)	ラングレー		ホスト送迎	英語レッスン コーディネーターとクッキー作り・ゲーム
5 日目 8 月 9 日 (木)	ラングレー		ホスト送迎 専用車	チャイルドケアセンター (保育園) への訪問 スーパーマーケットでショッピング 英語レッスン
6 日目 8 月 10 日 (金)	ラングレー ホワイトロック		ホスト送迎 スクールバス	英語レッスン ホワイトロック見学
7 日目 8 月 11 日 (土)	ラングレー			ホストファミリーと過ごす休日
8 日目 8 月 12 日 (日)	ラングレー			ホストファミリーと過ごす休日
9 日目 8 月 13 日 (月)	ラングレー バンクーバー		ホスト送迎 専用車	終日、バンクーバー市内見学
10 日目 8 月 14 日 (火)	ラングレー		ホスト送迎 専用車	英語レッスン ブルーベリーファームでブルーベリー狩り体験
11 日目 8 月 15 日 (水)	ラングレー バーナビー		ホスト送迎 専用車	英語レッスン メトロタウンへショッピング研修
12 日目 8 月 16 日 (木)	ラングレー		ホスト送迎	英語レッスン Farewell Party=サヨナラパーティー 修了証書授与
13 日目 8 月 17 日 (金)	ラングレー リッチモンド バンクーバー空港発	16 : 20	専用車 ANA115 便	ホストファミリーとお別れ スティーブストン見学後、バンクーバー空港へ バンクーバー空港から羽田空港へ
14 日目 8 月 18 日 (土)	羽田空港着 羽田空港発 新千歳空港着 南幌町ぼろろ	18 : 30 20 : 20 21 : 45 23 : 30	ANA79 便 バス	【日付変更線通過】 入国審査 国内線にて新千歳空港へ 新千歳空港到着後添乗員とお別れ、南幌町へ解散



ホストファミリー

滞在者	ホストファミリー			
	Father	Mother	Children / age	Pets
大井音和	WEE Clement	WEE Amy	PEYTON (Daughter) /1	
鬼木莞爾	NICKEL Henry	NICKEL Gloria		
石川千夏		ROBSON Tamara	RAYNE (Daughter) /21	2cats
柴橋茉奈		RENKO Alyssa	KEILA (Daughter) /11 AIDEN (Son) /9 RYLAN (Son) /9	
竹居田梓里	ELLWOOD Dave	ELLWOOD Debbie	GENEVIEVE (Daughter) /16	2cats
中川愛梨	PAKNIYAT Tony	SORIANO Antonette	OMID (Son) /18 INA (Daughter) /13 ARMAN (Son) /8	Fish 1dog





今回、カナダで二週間のホームステイに参加させていただきました。まず私の場合は準備が遅く、出国前日まで準備が終わりませんでした。さて、ホームステイでは二週間という期間で、私は日本の普通の生活では手に入らないカナダの普通を知りました。

まずカナダなどの国々では、赤



2 週間のホームステイで

南幌中学校

3年A組 大井 音和

やんでも自分の部屋を持っていて一人で寝ていました。まだ一歳なのにです。正直驚きました。それに何もかもが大きかったです。ですがやはり心配であった言語の壁は大きく、その壁は二日目からとても感じられました。ある程度の文法はわかったのですが、重要な単語がわからない、というのが弱点だと気付かさ

れた日でもありました。ですが帰国する時には英語を聞き取り、相づちをして答える、という一連の流れがかなりやりやすくもなりました。

ホストファミリーは三人家族で一人かわいい赤ちゃんがいて、とても楽しい家庭で、もう一人ホームステイしている人もいました。最初からフレンドリーでたくさん話しかけてくれたおかげで、すぐに慣れることができました。

ある日、メトロタウンというところに行きました。最初は町だと思っていましたが、そこはショッピングモールでした。でもただのショッピングモールではなく表せないくらいの大きさで、学校と校庭を二個ずつ合わせたような大きさで、三時間では半分も回れませんでした。そこでプーティーンという、カナダの郷土料理のような物を食べました。

プーティーンとはフライドポテトの上にソースとチーズをのせたものです。とってもおいしかったのでみんなにお勧めしたいと思える一品でした。



他にもバンクーバーの中心にも行ったのですがビルも大きいし、外国には軽自動車がなく、ランボルギーニやフェラーリなどの高級車がたくさんありました。そして、フライオーバーカナダというものをしたのですが、それがとてもきれいで名前のとおり、飛びながらカナダを一周するといったもので、草の匂いがしたり水辺に行くと水が霧でできたりしてとても楽しかったです。

クラウドスベリーファームという



ところでは、ベリーピッキング、いわゆるイチゴ狩りをしたのですが、私たちに教えてくれる担任のような存在のアービーという人が少ないね、ちよつと貸して、といってカゴを持ってさっそうとどこかへ行く、数分後にカゴいっぱいブルーベリーとイチゴを取ってきてくれました。

そして、今回行ったトリニティウエスタンユニバーシティという大学のところでおかし作りをしたりしたので、その時アービーとアクティビティ担当のベロニカがラズベリーだよと言って、そこら辺の木についているラズベリーをパクッ

と食べていたのがとても驚きました。

北海道でいうところの開拓の村のような存在のフォートラングレイというところで砂金をとったり、ホワイトロックというビーチで五m越えの岩に登って記念撮影をしたり、現地の保育園に行つて七歳くらいの子に英語で劣つていたりしたのも良い思い出です。

そして何より欠かせない家族のことです。休日にホストマザーのエミーのお母さんの家に行くと、その人は今回のサマーキャンプとよばれる、トリニティウエスタンユニバーシティのめちやくちやえらい人で、とてもびつくりしました。

日曜日は家族で家でまったりとしました。一歳のペイトウンと遊んでいたらとてもかわいかったです。その子は人に物を渡す、シェアが大好きな子でとてもかわいかったです。それにホームステイ中にホストファザーのクレメントの誕生日がありました。その時にケーキを出されたのですが、日本のスポンジケー



キとは違い、下の方がクッキードきていました。そうすると残りの一週間がとても短かく感じていききました。

最終日の前日、さよならパーティーがありました。そこでは英語落語やクイズ、習字をしてホストファミリーに家族の名前を漢字で書いてプレゼントしました。

そしてついに最後の日、朝いつもより早く起きて帰国の準備をすませいいつもどおり朝食を食べ、ペイトウンとたくさん遊びました。するといつのまにか行く時間になつてしまい、ガレージで別れたとたん涙の

ダムがけっかいし、涙があふれてきてとまりませんでした。

その後、大学に着いた時フェイスブックを交換しついに最後の別れをしました。その後トイレで落ち着いてきました。

その後は、フィッシュアンドチップスという有名な物を食べ、帰国の飛行機に乗りカナダとの別れをしました。

もう親からまた今度行く許可をもらいました。もうその時が待ち遠しいです。





僕は夏休みに行われた、中学生国際留学プログラムに参加することで心身ともに成長できたと思います。特にまだ未熟な中学生の時にカナダに行けたことは、とてもいい経験になったと思います。

一日目、カナダに到着した飛行機から降りて一番最初に出迎えてくれたのは、アシスタントのベロニカ



でした。そのあとにバスに乗って大学に行く間に気が付いたことは、いろいろな国の店があったことです。中国語、韓国語、そして日本語が看板に書いてある店がたくさんありました。

その後、ホストファミリーと対面しました。僕のホストファミリーは夫婦二人でした。五十歳のグロリア

カナダでの経験と僕の成長

南幌中学校

3年B組 鬼木 莞爾

と六十歳のヘンリーでした。それ以外にも韓国の看護学校からの留学生のアマンダとベルがいました。最初、韓国人なのにアマンダとベル？と思いました。しかし、韓国には自分の名前以外に、英語名のニックネームを付けるとい文化があることを知りました。カナダの文化だけでなく、韓国の文化も知ることができました。

カナダに来て二日目にホストファミリーとビーチに行きました。ビーチでは五人でビーチバレーをしました。その時、緯度が高いからか、日が沈むのが遅いな、と思いました。三日目に行ったフォートラングレーでは屋外博物館に行った後に、フォートラングレーの街を観光しました。西部劇に出てきそうな街並みでした。日本にはあまりないですが、フリーピアノという、街中にピアノが置いてあって「どうぞ弾いてください」という紙が貼ってありました。その後一八〇〇年代後半ぐらいからやっている本屋さんに行きました。リサイクルショップのよう

なところにも行きました。中は倉庫のようになっていて、少しカビ臭かったですが、古いものや掘り出し物のようなものがたくさん置いてあっていいところでした。

五日目に行った、ホワイトロックのチャイルドケアセンターでは、子供たちに絵本の読み聞かせをしました。その後、子供たちと遊んだのですが、子供たちは日本の子供よりもよくしゃべっている感じがしました。もちろん自分たちよりも英語力がありました。

休日はコストコに行ったり、教会





や森林公園に行ったりしました。教会の神父さんの言っていることははっきり言ってあまり理解できませんでした。コストコは日本と違って会員制ではなく、誰でも入れるような感じでした。コストコでは、ドラゴンボールなどの日本の漫画やアニメもたくさん売っていました。中は日本のコストコと変わりました。森林公園では、リスやねずみなどがたくさんいました。リスは日本のリスよりも大きかったです。

バンクーバー市内観光では、「フライオーバーカナダ」という4D上映を見ました。本当のカナダの空を飛んでいるようでした。また、訪れた場所の中には、映画「ミッシェンインポッシブル」のロケ地となっているところもありました。

クラウスベリーでは、ブルーベリーやイチゴ狩りをしました。

メトロタウンのショッピングでは、英語に翻訳された日本の漫画を買いました。意外と簡単な英語で書かれていて、僕でも読むことができました。さよならパーティでは、英語の落語をしました。意外と子供に受けて、やっていた自分が驚きました。修了式では可愛いムースのぬいぐるみをもらいました。

今まで楽しかったことばかり書いてきましたが、たった一つだけトラブルがありました。僕が寝ているときに、部屋のカーテンが落ちました。時間が遅かったので、次の日に報告したのですが、うまく「このカーテンは自然に落ちたのだ」ということが説明できず、相手には、「自



分が引つ張って落とした。」という誤解を生んでしまいました。ホストマザーに「引つ張ってないの？」と聞かれ「はい。引つ張っていません」という意味で「YES」と答えました。しかしそれは英語では「はい、引つ張りました。」という意味になるのでNOと答えなければならなかったのです。

その後、添乗員のえちさんに事情を説明してもらい、誤解は解けました。自分は「英語ができる！」と少し調子に乗っていたのですが、自分の考えを伝えるのはとても難しいことだな、と思いました。

また、友達とLINEをすること

によって心配なことも解決することができました。

最後に、カナダへ行く機会を与えてくださった南幌町の皆さん、添乗員のえちさん、英語を教えてくださいましたアビーとベロニカ、ホストファミリーの皆さん、そして陰で応援してくれていた両親に感謝したいと思います。

出発式の挨拶で言った通り、「経験を自分の成長につなげること」ができたと思います。

大人になったら、またカナダに行つて、今回お世話になった人達に会いに行きたいと思います。





今回私が短期留学しに行ったカナダは、私にとって初めての海外でした。楽しみという気持ちよりも、不安の方が大きく上回っていました。

カナダに到着し大学で一通りの説明を受け、その後すぐにホストファミリーの家へ。行く途中に見たカナダの街並みは自然豊かで空気が



美味しく、すぐに「ここなら楽しく暮らせるかも」と思いました。日本と違い左ハンドルであることに多少違和感を感じていましたが、大音量で流れる洋楽とホストマザーの歌声のおかげでとても楽しい車中でした。

私のホストマザーは自宅でチャイルドケアセンターをしている人

カナダ留学について

南幌中学校

3年B組 石川 千夏

で、子供と動物が大好きな優しくて大らかな人でした。緊張してなかなか話せない私に、たくさん話しかけてきてくれたのがすごくうれしくて、すぐに緊張はなくなりました。

カナダに着いて二日目、午前の授業を終えたあとに大学のキャンパス内を見学しました。とても広くて自然豊かな所で、すごく綺麗でした。授業の内容は日常会話を中心に、お金の使い方やことわざなど、今後のためになることを楽しく教えてくれました。

最後の授業ではカナダで行われるイベント等について学び、伝統的なゲームであるボビング・アップルを体験させてもらいました。大きなたるの中に水を入れてりんごを浮かべ、手を使わずに口のみでそのりんごを取り出すというルールです。想像以上に難しく、五分程かかってしまいました。コツをつかむと数秒でできるようになるそうです。

このように沢山カナダの文化に触れられることができて、楽しい思い出がたくさんできました。ただイ

スに座って学習するだけでなく、アクティブラーニングをたくさん取り入れていて、あんなに楽しい授業は最初で最後だと思っています。この授業もあつてか、なかなか自分からホストファミリーに話しかけられなかったのが自信をもって話しかけられることができました。

ホストファミリーとは今日はどんなことをしたかを帰りの車の中でお話するのが恒例になっていて、その時に自分の英語力で自分の伝えたいことをどれだけ伝えられるか、毎回少し不安で大変でした。





ホームステイ先ではカナダの番組を見たりドラマを見たりして過ごしていました。当然テレビの言葉もファミリーの言葉も全て英語で自分の英語力では全てを聞きとることはできませんでしたが、聞きとるべき重要な部分を聞きとって会話を成立させることができたので、何の問題もなく二週間を過ごすことができました。ですがもっと細かい部分の会話も聞き取っていかれないかと思うので、ここが今後の自分の課題だと思います。

今回のカナダで最も思い出に残ったのはバンクーバーでのショッピングです。最初はカナダドルをきちんと支払えるかとても心配でしたが、店員さんがレシートを見せて金額を言ってくれたり、おつりを渡すときも硬貨一枚ずつ何ドルか教えてくれて、自分の力でスムーズにはいかなかったけれど、カナダの人たちの優しさが身にしみてわかりました。

休日にはホストマザーと日本食のお店に行ったときも、英語のメニューをわざわざ日本語に直して言ってくれて注文しやすくしてくれました。人の親切さや街の景観、食べ物も、全てが自分にとってすごい場所でした。もちろんすごしやすいだけでなく大変なこともたくさんありました。例えば、ホストファミリーと初めて出会ったとき、なかなか自分の言葉で自分の意思を伝えることができなかったり、トイレはどこか、洗たくをしいかなど日常的に大切な会話すらもちやんと伝えるか不安でした。



私の英語力では海外ですごくことが難しいことを実感し、今まで以上に英語の勉強に力を入れようと思いました。テストで問題を解くのと、自分の思いを口に出して伝えるのでは大きく違うことも実感しました。さらに、学校の授業ではほとんど勉強しないリスニングも大切であるということを知り、学校の授業をきちんと聞いても海外で活用できなければ意味はないんだなと思いました。

今回のカナダで、自分がするべきたくさん課題を見つけることができました。さらに、英語だけでなく、カナダの文化についてもたくさん学ぶことができてとても充実し

た二週間となりました。今後は見つけた課題をきちんと達成させること、授業で学んだことのインプット、アウトプットをしつかりすること、そしてカナダの人々の物事の考え方も自分の人生に取り入れていきたいと思います。カナダに行ったことは一生忘れない思い出です。このような貴重な体験をもうけていただいた町、カナダに行くことに賛成してくれた両親、そしてカナダで沢山の思い出を作ってくれたホストファミリーと添乗員さんに感謝の気持ちを絶対に忘れず、今回のカナダ留学を終えたいと思います。





私は今回の中学生国際留学プログラム事業で沢山の良い経験をすることができました。

もともと、私はこのプログラムに参加する気がなく、友達に誘われて参加することになりました。初めての海外なのでとても緊張しました。

カナダの空港に着いて入国審査の時、英語で年齢を聞かれたり、何



の為にカナダへ来たかを聞かれてカナダに来た実感がわきました。

その後、大学に行くこととホストマザーが迎えに来ていました。私のホストファミリーは、ホストマザーと十歳の女の子と九歳の双子の男の子の四人家族でした。マザーは、夕食後に家族のことやカナダの観光地のことについて私に説明してく

カナダ留学を終えて

南幌中学校

3年A組 柴橋 茉奈

れました。

最初はホストファミリーの英語が上手に聞き取ることができませんでした。でも、わからないと言ったらゆっくり丁寧に話してくれたのでとてもわかりやすかったです。子供達とは、夕食後に家の外にあるトランポリンで一緒に一時間くらい遊んだり、パズルやボードゲームで遊びました。午後八時くらいでも外が明るいので公園で遊んでいる子供が多かったです。

二日目は、大学で初めての英語レッスンでした。朝食は牛乳が苦手でシリアルが食べられないので、ラズベリージャムのトーストにしてもりました。

三日目は、フォートラングレーに行きました。そこでは、色々な動物の毛皮を扱う毛皮交易所だった時代について学びました。

四日目は、お菓子作りをしました。最初に大学の敷地内にあるブラックベリーを取ってから、二つのグループに分かれて作りました。私のグループは、ブラックベリーが入って

いるマフィンを作りました。美味しく作ることができました。

五日目は、チャイルドケアセンターに行きました。私は子供達に簡単な紙飛行機を教えてあげました。その後、少し時間が余り、一ドルショップに行きました。お菓子や雑貨など色々な物が売っていました。

六日目は、ホワイトロックでした。行く前にアイスを食べました。日本語が少し話せる店員さんだったので会計がスムーズにできました。アイスが大きくて美味しかったです。ホワイトロックに登る前に皆で海





に入りました。外が暑かったのか、水があまり冷たく感じませんでした。海の中にたくさん藻があり歩きづらかったです。ホワイトロックは木の板を登らなくてはいけなくて、友達に助けてもらいながら上に登ることができました。

七日目と八日目は、週末でした。

土曜日は平日よりも少し遅めに起きてから、マザーの実家に行きました。そこで私は、アニメを見ました。海外のアニメも面白かったです。そしてコストコに行きたくさん試食しながらお買い物しました。日曜



日は、午前中に教会に行きました。そこは、コンサートみたいな雰囲気でした。夕方にウォーターパークという屋外のプールに連れて行ってもらいました。ウォータースライダーや流れるプールなどがあり、ホストファミリーのケイラちゃんとかくさん遊びました。その他にも滞在中に映画や家具屋に行きました。

九日目は、朝からバンクーバー市内見学でした。「フライオーバーカナダ」というカナダの空を飛んでいるようなアトラクションに乗りました。そして、家族や友達のお土産を買いました。

十日目は、ブルーベリーといちごを取りました。ブルーベリーを洗わないでそのまま食べたことに驚き

ました。その後に先生のおじさんの家のプールに入りました。水が冷たく気持ちよかったです。

十一日目は、メトロタウンショッピングでした。女の子でお揃いのTシャツなどを買いました。いっぱいお店があり、迷いそうでした。

十二日目は、サヨナラパーティーでした。私達は、浴衣を着て盆踊りと英語落語と書道とクイズをしました。家族の名前を書いた書道をホストファミリーにあげると喜んでくれました。また、クイズのシンキングタイムのダンスもホストブラザーと一緒に踊ってくれました。とても楽しくて素敵なパーティーになったと思います。

最終日は、朝食を食べてからホストファミリーが学校まで送ってくれて学校に着いた時に子供達が「寂しい」と言って抱きついてくれ、私も帰りたくない気持ちになりました。

その後、缶詰工場に行き、昼食でフィッシュ&チップスを食べて空港に行きお土産を買いました。北海

道に着いてから少し寒いなと感じ、親の顔を見て「日本に帰って来たな」と思いました。

最後にこの二週間、貴重な体験をする事ができました。この事業を支えてくれた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。





今回、私は南幌町主催の中学生国際留学プログラム事業に参加させていただきました。そして、私は数多くのことを学ぶことができました。

まず、カナダの空港についたときに、ベロニカという女の人が私たちを迎えてくれました。しかし、私たちは彼女の英語が聞き取ることが



カナダで過ごした二週間

南幌中学校

3年B組 竹居田 梓里

できず、うまく返事をするのができなかつたので、この先が少し不安になりました。

その後、すぐにトリニティウエスタン大学に行き、この二週間の流れやホストファミリーとの過ごし方などの説明を受けました。その時は、英語は聞きとれたのですが、どのように返事したらよいのかわから

ず説明をしてくれた先生も少し困った表情をしていて、不安がさらに増えました。それからホストマザーのデビーとホストシスターのジェネビーブに会い、彼女らの家に向いました。

私がカナダに行くうえで、一番心配だったことは、ホストファミリーとの会話でした。聞き取れなかったらどうしよう、会話が途切れてしまったらどうしよう、などの心配を考えながら彼女の車に乗りました。その時、ジェネビーブに南幌町や私の家族について聞かれ、私はデビットとのレッスンや学校の英語の授業で身に付けた英語力を使い、一生懸命答えました。そして二人とも理解してもらえた時、私は自分の英語力に自信ができました。

次の日から、大学での英語のレッスンは始まりました。レッスンをしてくれる先生はアビーという女の人でした。彼女はとても明るく、私たちを自然と笑顔にさせてくれる先生でした。ときどき、彼女の英語が理解できず戸惑うときもあつた

けれど、とても楽しいレッスンでした。



レッスンは午前で終わり、午後からはいろいろなところに行きました。その中で私は、チャイルドケアセンターとメトロタウンでの買い物がとても心に残りました。

チャイルドケアセンターでは十数人の子どもたちと三人の先生がいました。私たちは折り紙を教えた、歌を歌ったり、ブロックで一緒に遊んだりしました。折り紙では鶴や犬、猫などを教えました。私たち



の英語力がまだまだ未熟でうまく折り方の説明ができず、子どもたちを困らせてしまったときは、とても悲しくなりました。

そのあとに、子どもたちと一緒にブロックで遊びました。私は相手の男の子に「何を作っているの?」や「とてもかっこいいね」など、いろいろ話しかけてみました。けれど、彼もとても緊張していたため、なかなか返事をもらえず少し心配になったけれど、諦めずに話しかけ続けていたら、彼がいっぱい返事をくれ

るようになり、とてもうれしかったです。お別れのときは、彼とハイタッチをして別れました。

メトロタウンでの買い物は女の子同士でTシャツをおそろいにしたり、リップクリームなどを買いしました。メトロタウンに行く前の英語のレッスンでお金について学んでいたので、物を買うときに計算をすることが最初のころよりとても楽になっていました。そして、当たり前のことなのだけれどもアビーとベロニカが一人で買い物をしていたことがとても輝いて見えました。将来、私も一人で海外で買い物ができるようになりたいです。

大学最後の日、私たちはさよならパーティーで日本に関わるさまざまなことをしました。

さよならパーティーが始まる少し前に初めて練習したのでうまくいくか心配だったけれど、みんなで楽しくおどることができてとてもよかったです。その後は鬼木君が英語落語をしたり、私と柴橋さんでトリニティ、カナダ、アビー、ベロニ



カを漢字にして書いたり、日本のクイズをしたりしました。最後に私たちは中学校の全校合唱で歌われている、絆という曲を歌いました。私たちの歌を聴いて、涙ぐんでいたホストファミリーを見て、私も少し泣きそうになりながら、一生懸命歌いました。その後にアビーとベロニカにメッセージカードを渡しました。二人とも喜んでくれてとても嬉しかったです。それから修了証とムースのぬいぐるみももらい、さよならパーティーは終わりました。

次の日はホストファミリーとお別れをしたあとに、鮭の缶詰工場に行きました。そこでフィッシュアン

ドチップスというものを食べました。とてもおいしかったです。その後空港に行き、アビーとベロニカとお別れをして、カナダを出ました。このプログラムに参加して、私の英語力がまだまだ未熟だということと、今まで英語を勉強して培われたものが、海外で少しだけ通用することがわかりました。これからは、英語を話せることが当たり前前の時代だそうです。なので、英語を完璧に話せるように日々努力していきたいです。





私は今回、中学生国際留学プログラムに参加させていただいて、二週間カナダに行きました。

私にとって初めての海外なので、緊張と共に不安を抱えていました。初日の飛行機では、時差ボケにならないように、ずっと寝ていました。バンクーバーの空港に着くと、そこには想像以上にすごい物がたくさん



ありました。けれども、私が浮かれていたのはほんの数分です。なぜなら、すぐに入国審査が待っていたからです。私はとても怖いと思っていましたが、とても優しい中国系の人だったので良かったです。その後大学に行き、すぐにホストファミリーに引き取られました。

私のホストファミリーは、六人

カナダ留学を終えて

南幌中学校

3年B組 中川 愛梨

族です。ホストマザーのアントネット、ホストファザーのトニー、ホストブラザーのオマイド、ホストシスターのイナ、ホストブラザーのアーマン、ホストグランドマザーのラクレです。初めは緊張していて、あまり話せずにいましたが、アーマンがたくさん話しかけて来てくれたので徐々に緊張もほぐれ、積極的に話す事ができました。その上、犬が一匹いたので、暇になった時はいつも一緒に遊んでいました。私のホストマザーは、料理をするのが得意だったので、毎日とてもおいしい料理が出てきました。

休日には、キャンプに連れて行ってくれたり、小さな教会に行ったり、大きなスーパーマーケットに行ったり、バスデーパーティーなどたくさんの場所に連れて行ってくれました。とても楽しかったです。

大学では、午前はワークシートを使つての授業をし、午後はお買物に行ったり、お菓子を作ったりたくさん活動がありました。

授業した内容は、ホストファミリー

ーについての事や、キャンプする時の事やカナダでのリサイクルやゴミの分別の仕方、お金の使い方やイベントについて学びました。教えてくれる先生はアビーといいます。最初、とても早いスピードで話されたので、私たちは上手く言葉を返す事ができませんでした。けれども、アビーはとても優しくゆっくり話してくれたり、わかりやすい質問をしてくれたりして、とても良かったです。

私たちは、フットラングラーに行ったり、お菓子を作ったり、幼稚





園に行ったり、ホワイトロックに行ったり、ショッピングに行ったり、ベリー狩りをしたりとたくさんのお出掛けをしました。

フォートラングレーとは、日本では言う開拓の村です。そこでは、カナダの文化、歴史について学び、とても勉強になりました。ビーバー、リス、クマなどの毛皮があり、触れるとてもふわふわでした。

お菓子作りでは、マフィンやパンケーキを作りました。授業が終わって採りに行ったブラックベリーをマフィンの中に入れたり、パンケーキ

キの上ののせたりして、とても美味しかったです。

私が最も大変だった活動は幼稚園です。小さい子は話すスピードが想像以上に速く、私たちよりも英語を話すのがとても上手で、私はついていけません。積極的に話しかけてもなかなか心を打ち解けてくれなかったのです、すごく大変でした。

ホワイトロック見学では、海に入ったり、石に登ったりしました。ホワイトロックとは石の名前です。石に登る時はしごの所がすごく滑って、全員が登るのに少し時間がかかったけれども、無事に登れたので良かったです。

私の一番の思い出は、ショッピングです。男女別々に分かれてお買物をしました。カナダのお店は日本よりも、すごくオシャレで同じお店でも値段がすごく安いのです。なので、たくさんのお店を回って、たくさんお土産を買いました。女子四人でお揃いにした物は、Tシャツとサンダラスです。これは、とても大切にしています。



ています。

ベリー狩りでは、ベリーファームに行きました。ブラックベリー、ストロベリー、ブルーベリーの三種類がどれも取り放題です。その場で取ってすぐに食べる事もできました。とても美味しかったです。

さよならパーティーはすごく盛り上がりしました。私たちは、浴衣を着て盆踊りや習字、クイズ大会をしました。とても楽しかったです。これで最後かと思うと、とても悲しかったです。



今回、カナダに行ってみて私は多くの事を学びました。私は、このメンバー達と作った思い出を忘れる事はありません。とても楽しかった二週間を送る事ができてとても幸せでした。今回、このような貴重な体験をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。また、機会があれば、もう一度カナダに行きたいです。本当にありがとうございました。





8/9・10 チャイルド・ケアセンター・ホイトロツク



8/13 パンパ-市内観光



8/14・15 グルーパー狩り・イトホ・リタニール





8/16 さよならパーティー



8/17 港町スナック・カナダとお別れ



8/18 帰国・南幌町へ



Thank you Canada



育てる喜び、育む幸せ。

南幌町
TOWN NANPORO

平成 30 年 10 月発行

編集・発行 南幌町教育委員会 TEL 011-378-6620

〒069-0237 北海道空知郡南幌町栄町 3 丁目 3 番 1 号

中学生国際留学プログラム事業には南幌町を応援されている皆さんの寄附金が活用されています。